

# 継続的発展が可能な普通作産地の育成

県西農林事務所坂東地域農業改良普及センター

当管内における普通作経営は、50～200ha規模の大規模土地利用型経営体や法人組織が多数存在し、水稲のほか、畑作物であるそば、麦が基幹作物になっています。

そこで、米価下落に対応できる、畑作物を中心とした坂東型大規模普通作経営の確立を図るため、畑作物の収益力向上を課題に取り上げ、そば、パン用小麦「ゆめかおり」の産地づくりに取り組みました。

## 高品質ゆめかおり生産と普及拡大

パン用小麦「ゆめかおり」のブランド化に向けて、「茨城パン小麦栽培研究会」と関係機関が一体となり、買ってもらえる品質（製パンに適した高タンパク質含量）の確保と需要拡大に取り組みました。

高品質麦生産と販路拡大により、栽培面積は栽培開始時の0.38ha（平成25年産）から47ha（平成28年産）に急拡大しています。



常陸秋そばサミット in 坂東



茨城パン小麦栽培研究会

## 坂東管内産そばの有利販売

平成23年より継続して管内産そばの品質実態の解明に取り組んだ結果、管内産そばは他産地と比べてタンパク質含量が高く、製麺適性、味、香りに優れるという特長を明らかにしました。

また、「常陸秋そばサミット in 坂東」の開催を通じて管内産そばの特長が広く認知され、実需者とのマッチング支援により新たな販路が開拓されるなど、管内産そばの販売力強化につながっています。

## 新技術導入による経営の効率化

農地集積・集約化に対応できる経営体を育成するため、圃場管理システムの導入支援、水田センサーのモデル圃設置、管内若手農家を対象としたICTセミナーの開催等、農業分野におけるICTの導入推進を図りました。

ICTセミナーは関係者を含め48名が参加するなど、管内農家の関心は非常に高く、今後もICT利用の有用性について検証していきます。



ICTセミナー